



『自分にできることを少しずつ』

校長 横田 和 長

2学期が始まり、約1ヶ月がたちました。7月28日に起きた、令和8年熊本地震では、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災地の日も早い復興をお祈りいたします。熊本の子どもたちが、楽しみにしていた夏休みに、避難生活を送っているという状況を思うと、胸が締めつけられる思いです。『自分に何かできることはないか』『今、何ができるのか』と、報道などを目の当たりにすると考えさせられます。

私は2011年に起きた東日本大震災発災後、東京都から被災地に教員を派遣するという知らせをいただきました。これならば自分の力も何か少しでも役に立てるのではという想いで、震災2ヶ月後の5月に宮城県登米市立津山中学校に赴任しました。着任してすぐに当時の校長先生に南三陸町の志津川という町に連れて行っていただきました。その日は志津川中学校の始業式。山積みになった被災物の中を中学生たちが下校している姿を目の当たりにし、被災地と東京との大きな隔たりを感じました。目の前にはそこに暮らしていた人たちの生活用品などが無残に転がっていました。私は言葉もなく、ただ立ち尽くし、無力さを感じたのを今でも覚えています。

それから私は何度か、南三陸町を訪れ、震災後の復興へ向けた町の姿の変容を見ていました。かつて数多くの被災物があった場所は、10m以上の高さまで盛り土されている状況でした。その中に、防災庁舎が今もなお津波被害の恐ろしさや自然の脅威を静かに、でもはっきりと伝えています。今この場所は、震災復興祈念公園となっています。

南三陸町をはじめ、被災された沿岸部の地域に防潮堤や津波を想定した町の復興が進められていました。でも自然災害はなくなるわけではなく、また災害を防ぎきれぬわけでもありません。いかに被害を減らしていくか、いかに多くの命を救うのかが重要になってくると思います。災害が起きたとき、自分の命は自分で守る。自分の命を守ること、これは自分だけが助かるという意味ではありません。自分の命を守ること、さらに助けが必要な人を支援するということが大切です。『自助』と『共助』です。

東日本大震災でも、震災の“風化”が課題であると耳にしました。以前、被災した防災庁舎の前に立ったとき、観光で来られた方でしょうか、庁舎の前でにこやかに記念写真を撮っているグループがいました。ご存じのように、防災庁舎は震災当時、津波が押し寄せているにもかかわらず、女性職員が最後まで住民に避難を呼びかけ、ご自身の命を亡くされた場所でした。その遺構の前で、にこやかにポーズをとって記念写真…。私はその光景を見て、言葉がありませんでした。今でもそのことははっきりと目に焼き付いています。寂しいですが、これが風化ということなのかと感じました。

東北だけでなく、能登半島や熊本県に行き、被災地で何かしようと思っても、なかなか行けません。でも、行けなくても、小さなことでよいのです。自分なりにできることを、小さなことから何か行動を始めていくことが大事だと私は考えています。何か大きなことをやらなければならないと思っても、それをすぐに実行することはできません。自分でも無理なく持続してできることを考え、実際に少しずつでも行動していくことが、大事だと考えます。被災された方々に思いを寄せながら、自分ではわずかしきやっていないということでも、一人でも多くの方が行動すれば、やがてそれは大きな力となっていくのだと思います。

道徳授業地区公開講座

9月12日(土)に道徳授業地区公開講座が行われました。2校時に全学級で道徳授業が行われ、3校時には全校生徒が体育館に集まって講師の松澤 亮先生(新宿区立新宿中学校校長)に『互いの人権を尊重し合う豊かな心』をテーマに講演をしていただきました。

「自分が大切にしているものを否定されると嫌な気持ちになる」ということを実際のやりとりを通して、「気持ちの良いやりとり」のポイントや人権尊重の大切さについて学びました。また、日頃の言葉遣いや相手への接し方について、楽しく分かりやすく教えていただきました。

松澤先生が紹介してくださった3つの R

【Respect(尊重・相手を思いやる) Responsibility(自分の行動に責任をもつ) Resilience(失敗しても立ち直る力)】を胸に刻み、富士見丘中学校の生徒たちが互いを認め合い、支え合っていける豊かな心を育めるように、今後の教育活動にあたっていきたいと思いました。



修学旅行

9月2日(水)～4日(金)に3年生が京都・奈良方面に修学旅行へ行ってきました。

初日は京都駅に到着してから近鉄線で近鉄奈良駅に向かい、東大寺で学級ごとに集合写真を撮りました。そのあと班行動で大仏殿を見学したり、様々な見学地を回ったりしながら、歴史や文化に触れる時間を過ごしました。

2日目は雨が強まる恐れがあり、一部予定を変更した班もありましたが、終日班別行動で京都市内を見学しました。事前に立てた計画をもとに、仲間と協力しながら行動し、京都ならではの雰囲気味わうことができました。初日・2日目ともに大きく遅れる班もなく、皆無事に宿にたどり着くように調整しながら行動できたことは、とても素晴らしいです。

3日目はタクシーを各班で貸し切って、地下鉄やバスでは周りにくい見学地をタクシーの運転手さんに案内してもらいながら様々な場所を回り、充実した半日を過ごしました。

全体を通して、大きな事故やケガもなく、無事に全行程を終えることができました。保護者の皆様には初日の東京駅に朝早くからお見送りに来ていただき、ありがとうございました。今回の修学旅行で得た多くの経験や仲間との思い出を大切に、次の大きな行事である音楽祭、そして卒業に向けて、さらに成長していくことを期待しています。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



給食試食会

9月3日(木)に給食試食会を開催しました。当日は保護者の皆様に給食を試食していただくとともに、「給食ができるまでの過程」や「献立・調理に込められた工夫」についての説明を聞いていただきました。

普段、何気なく食べている給食が、栄養士さんや調理員さんをはじめ、多くの方々の工夫や努力によって作られていることを知っていただく貴重な機会となりました。

参加された保護者の皆様からも、あたたかいお言葉を頂戴し、充実した給食試食会となりました。これからも安全で美味しく、子どもたちの健やかな成長を支える給食を提供してまいります。



生徒会役員選挙

9月9日(水)に生徒会役員選挙が行われ、新たな生徒会役員が決まりました。立候補した生徒たちは、自分の思いを堂々と語り、より良い学校をつくろうとする熱い気持ちを伝えてくれました。

新たに生徒会役員になった皆さんには、ぜひ生徒一人ひとりの声に耳を傾け、その思いを生徒会活動に生かしてほしいと思います。また、今回の選挙で惜しくも選ばれなかった皆さんも、勇気をもって立候補し、自分の思いを伝えたことは大変素晴らしいことです。今回の経験を生かし、これからは各委員会や行事の実行委員会等、それぞれの場で力を発揮してくれることを期待しています。



放課後ラーニングセンター 「まなびば」

9月28日(月)から「まなびば」の試行期間が始まります。この取組は、生徒が主体となって運営委員会を立ち上げ、どのような場所にしたいかを考えながら、利用する際のルールや運営方法について話し合い、準備を進めてきたものです。

放課後にラーニングセンターで自習や読書をしたり、友達と談笑したりするなど、生徒がそれぞれの目的に合わせて利用することができます。月・水・金に開館しますので、ぜひご来館ください。



10月の行事予定

日	曜日	行 事
1	木	都民の日
2	金	安全指導 復習確認テスト(3)
3	土	
4	日	
5	月	全校朝礼 常任委員会 教育実習始
6	火	評議会
7	水	
8	木	学納金引き落とし日
9	金	第2回進路説明会
10	土	
11	日	
12	月	スポーツの日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	

日	曜日	行 事
17	土	音楽祭 PTA 運営委員会 学校運営協議会(CS)
18	日	
19	月	音楽祭振替休業日
20	火	
21	水	
22	木	常任委員会
23	金	評議会 避難訓練
24	土	(漢検)
25	日	
26	月	生徒朝礼 進路面談(3)始 教育実習終
27	火	
28	水	
29	木	口腔保健指導(1)
30	金	進路面談(3)終
31	土	

【学校ホームページのご案内】

2学期より、学校ホームページが新しくなりました。

すでに Tetoru でもご案内しておりますが、下記のアドレスよりご確認ください。

学校行事や今後の予定等もホームページでご確認いただけますので、是非ご活用ください。

<https://suginami.schoolweb.ne.jp/13030015>

 杉並区立富士見丘中学校

配色 通常 白地 黒地 文字 標準 中 大

キーワードを入力

[★トップページ](#) [学校概要](#) [学校生活](#) [地域・PTA](#) [記事](#) [配布文書](#) [予定表](#) [各種登校届等](#) [緊急時の対応](#)

